

企業の要は「人財」です。 私たちは、「グローバル化2ndステージ」実現に欠かせない、 多様な人財の採用と「日東Person」の育成を進めています。

採用

多様な人財の採用を推進

事業をさらにグローバルに展開するため、ここ数年、多様な国籍の人財の採用を積極的に進めています。2013年度の日東電工全社採用の新入社員28名の内7名が外国籍の人財です。国籍もアジア、ヨーロッパなど多岐にわたり、R&Dなど様々な職種で活躍しています。

また、多様性(ダイバーシティ)推進の一環として、女性の採用もこれまでよりも積極的に行い、2013年度の新入社員の内30%を女性が占めるようになりました。

グローバルでのさらなる成長に向け、多様な人財が新たな活力をもたらすことを期待しています。

グローバル化

1. トップリーダーの経営方針・目標の

共有のため、グローバルカンファレンスを開催

前年度に引き続きグローバルカンファレンスを開催し、2013年3月26、27日、世界13か国のトップリーダー29名を含む101名が豊橋事業所に集まりました。これは、世界のグ

ループ各社のリーダーたちが経営方針を共有し、目標達成を誓い合う場です。

まず、CEOが2013年度方針を発表し、次いでCFOが予算の全体説明を、各事業執行体幹部が各事業予算の方針説明を行いました。

日東電工グループでは、One-Basic Energy として、グループ全体の総力で事業を推進することが求められており、情報共有を通じて今後の事業展開の方向性を探る場としても、意義のある会議となっています。



CEOの方針説明

2. 人事部門の改革をグローバルで検討・推進

急速に進むグローバル化に対応するため、人事部門の改革も急ピッチで進んでいます。その一環として、2012年11月と2013年4月、世界の人事部門責任者・担当者が日本に集ま

新入社員による、東日本大震災被災地へのボランティア活動

2011年度に引き続き、2012年度も新入社員47名による、東日本大震災被災地へのボランティア活動を、「石巻市復興を考える市民の会」とともに行いました。

ボランティア活動は2班に分かれ、第1班は11月8～11日、宮城県女川町で、仮設住宅に隣接する荒地を農園にするための整地作業を行いました。第2班は11月15～18日、石巻市大橋地区で、側溝の清掃を行いました。

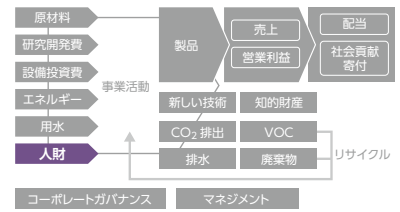
短い期間でしたが、新入社員に社会貢献を体験してもらい、今後も社会と共生していく人財に育ててもらいたいと考えています。



整地作業。
掘っても掘っても石が出てくる。
作業の合間には、仮設住宅の方々と
交流できた。



側溝の清掃。
津波のヘドロが溜ったままに
なっており、除去した。



り、グローバル・ヒューマンリソース・サミットを開催しました。
 グループとしての人事部門方針を共有するとともに、人事部門の役割・機能の見直し、事業部門への貢献、グループ人材の情報の集約やジョブローテーション・キャリア開発などについて議論・発表を行いました。
 グローバルで「事業に役立つ人財育成」「日東Person育成」ができる人事部門をめざして、各国の人事責任者・担当者が密にコミュニケーションを図り、継続して議論を重ねています。

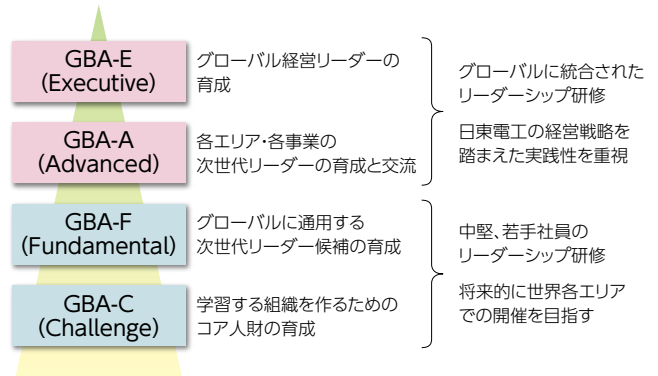


各国の人事責任者・担当者が一堂に集まって議論

3. 「ポテンシャルの高い人財を磨き上げる」 教育制度が本格的に始動

将来の経営幹部をグローバルに育成するグローバル・ビジネス・アカデミー (GBA) を2011年7月にスタートさせました。2012年度にすべての体系が整い、本格的に活動しています。

GBAには4つのコースがあり、以下の体系となっています。



いずれのコースも、世界のグループ会社の社員を候補の対象としており、「グローバル化2ndステージ」で活躍できる「日東Person」育成の場となっています。2012年度は各エリアから総計59名(アメリカ2名、ヨーロッパ3名、南アジア2名、東アジア6名など)が参加し、独自の研修プログラムを受講しました。GBAでは経営知識の習得に留まらず、グローバルでの経営課題の解決に向け、白熱した議論を行っています。

女性活躍推進

女性活躍推進活動を展開

2012年度末現在、日東電工(単体)の女性社員比率、女性管理職の割合とも、大手製造業他社と比較しても十分な水準に達しているとはいええない状況です。今後のグローバルでの成長を支えるのは、国籍・性別を問わない「日東Person」です。女性がより活躍できる会社をめざして2012年度にプロジェクトを立ち上げ、女性の活躍を支援する制度や職場の意識を改革するための取り組みの検討を行っています。

タイ労働省から、洪水期間中の対応に対して表彰状

2012年9月、日東電工マテリアルタイランドが、タイ労働省から、労働者に優しい企業に贈られる「Thai Labor Benefits Provider Award 2012」を受賞しました。

2011年のタイ洪水被災時に、従業員の雇用を維持し、給与支給を継続したこと、従業員に食糧などを支給したこと、従業員一丸となって工場復旧作業に取り組んだことなどが評価されたものです。



バンコクの労働省本省庁舎で行われた表彰式。
 日東電工マテリアルタイランドの社長(当時)高見(左)。